

あ・り・が・と・う

暑い中、ヘルプ活動ありがとうございます。

今年度より3か月ごとに提供活動明細書を提供会員の皆さんへ郵送することにいたします。

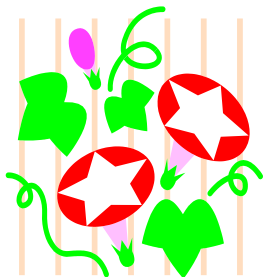
利用会員さんからお預かりした活動謝礼金(4.5.6月分)の明細ですのでご確認ください。

併せて、より安心して提供活動をしていただけるように コーディネーターからのおたより

“コーディネーター通信 あ・り・が・と・う”もスタート!ヘルプでの注意やお願い、

活動の情報など掲載しています。皆さんの活動に役立てていただければと思います。

(いままでどおり提供活動明細書は活動月の翌月20日以降事務所でも受け取れます。)



夏のヘルプ時のお願い

利用者さんのお宅へ行かれた時に、

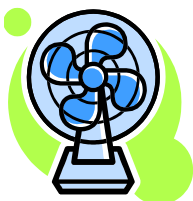
「室温が高い」「厚着をしている」

「食欲が落ちている」などお気づきの点がありましたら事務所に連絡をお願いします。

高齢の方は暑さが感じにくくなっていたり、水分を控えがちです。

水分や塩分の補給の

声掛けをお願いします。



熱中症について

熱中症で救急搬送される人のおよそ半分以上が65才以上の高齢者です。しかも室内や夜間でも多く発生しています。

急に暑くなった日や湿度が高く蒸し暑い日は要注意です。

予防にはこまめな水分補給と暑さを避けることが大切になります。部屋に熱がこもりやすいので直射日光をすだれやカーテンで遮り、部屋の風通しをよくしましょう。

冷たいタオルでも体を冷やす効果はあります。

汗をかいた時にはスポーツドリンク!と思われがちですが糖分のとりすぎが心配。塩分補給にはいつもの味噌汁やスープも有効です。

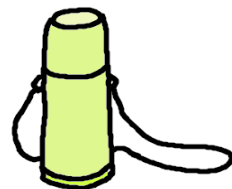
暑さをしのぐ工夫とバランスのよい食事で夏を元気に過ごしましょう!

まごころQ&A

Q ヘルプの後に利用者さんから、「暑い中ありがとうね、冷たいお茶飲んでいて。」とお茶をすすめられてしまいました…

A 利用者さんのお気持ちはありがたいですね。ですが、気兼ねなくヘルプを利用いただくためにまごころヘルプではお茶、お菓子はいただかない決まりになっています。

ガイドブックの持ち物の中に水筒(自分の水分補給)と載っています。「冷たいものでも…」と言われたら、ご自分の水筒を目の前に出して「まごころの決まりでいただけないんですよ。持ってますから大丈夫です。(^^)」と利用者さんの気遣いに感謝の笑顔で教えてください。ポイントは実際に水筒を見せる事です。



Q 以前、まごころヘルプでヘルパー2級研修を受講しました。もうヘルパー2級の研修はしないのですか?友人が受けたと言っているのですが…

A 昨年より制度が変わりヘルパー2級研修は『介護職員初任者研修』に変わりました。新潟市社協では社会福祉研修センターで実施しています。お問い合わせも多いので今回資料を同封いたしました。興味のある方に是非お渡しください。

ヘルプ中に気付いたことや不安に思った事いつでも気軽にコーディネーターにお電話ください!

東 区まごころヘルプ 272-7741(多田、星山)
中央区まごころヘルプ 210-8736(松田、鈴木)
西 区まごころヘルプ 211-1616(高井、横田)